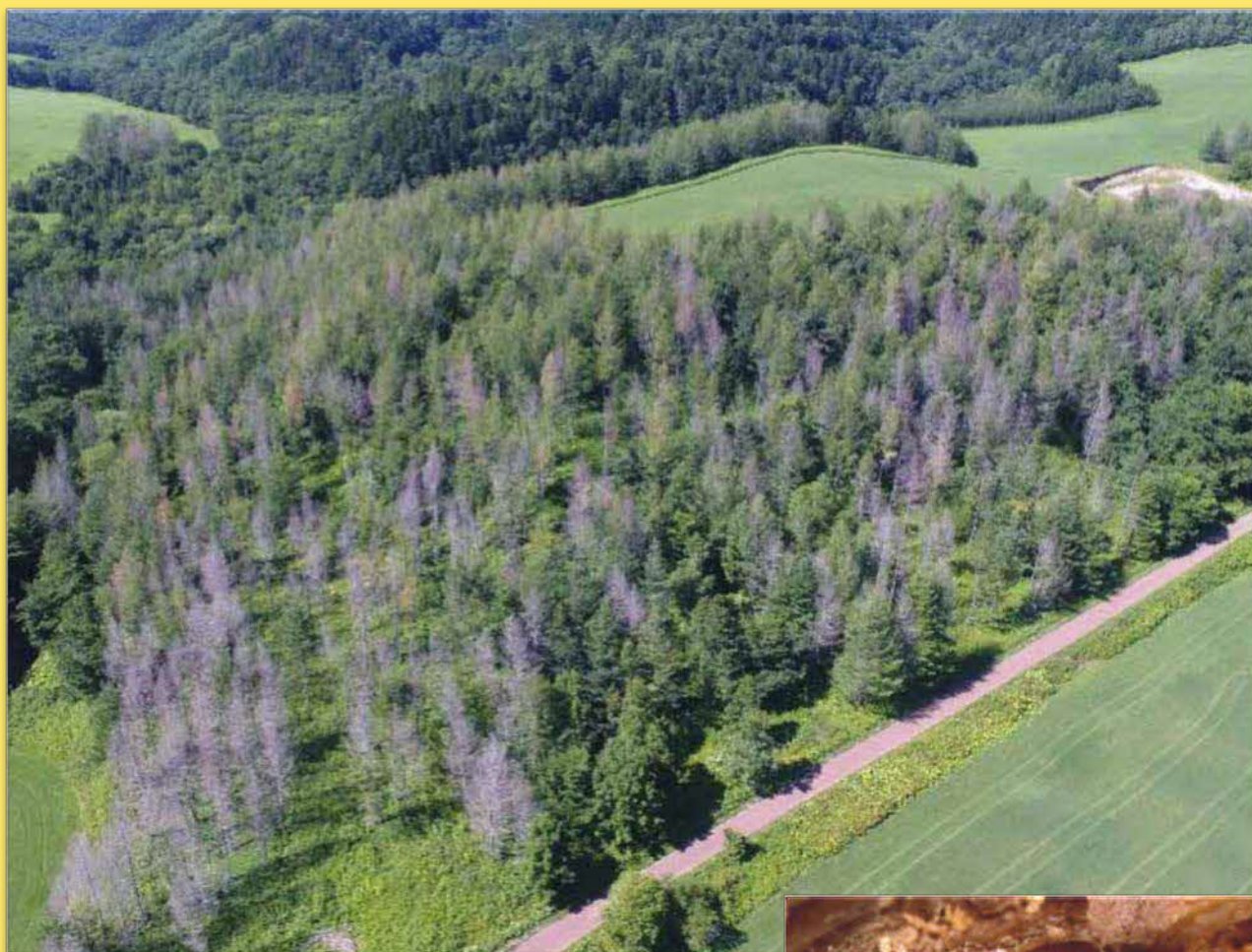


カラマツヤツバキクイムシ 被害の早期発見と対策

～見逃していませんか？ あなたのまちの森林被害～



▲カラマツヤツバキクイムシ被害林分

カラマツヤツバキクイムシの成虫▶



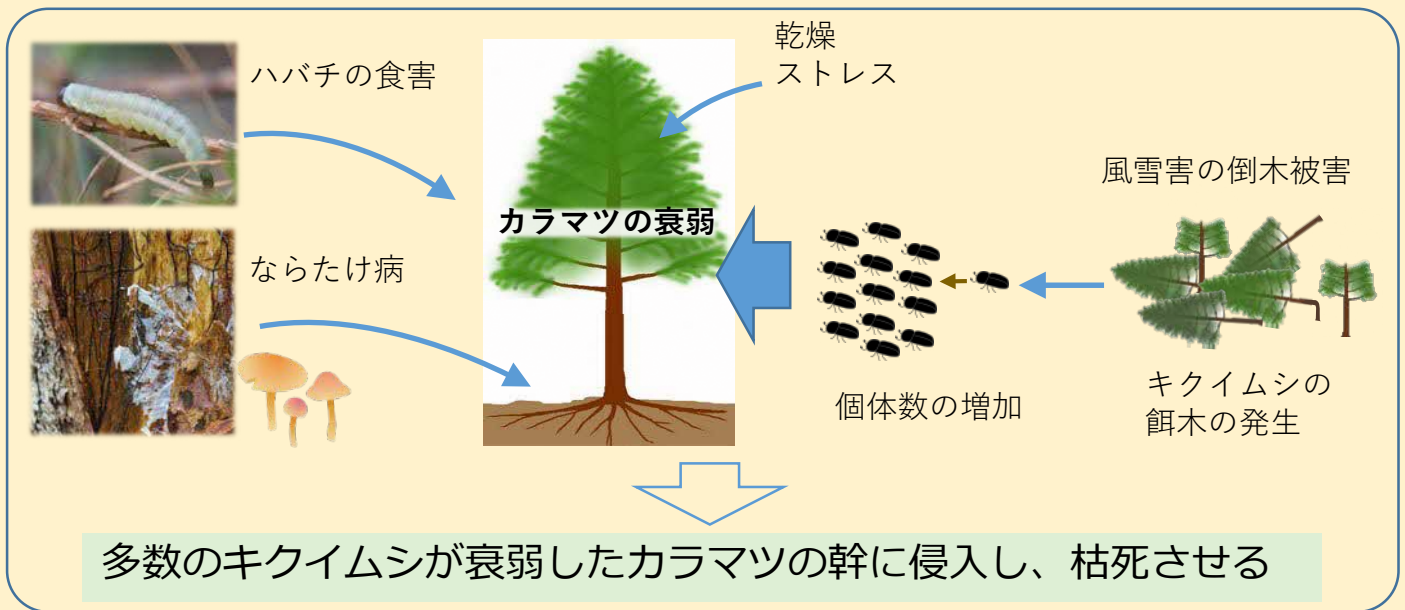
北海道水産林務部林務局森林整備課
(地独) 北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

カラマツヤツバキクイムシ被害とは

カラマツヤツバキクイムシ（以下「クイムシ」）は、全道的に分布している森林害虫です。

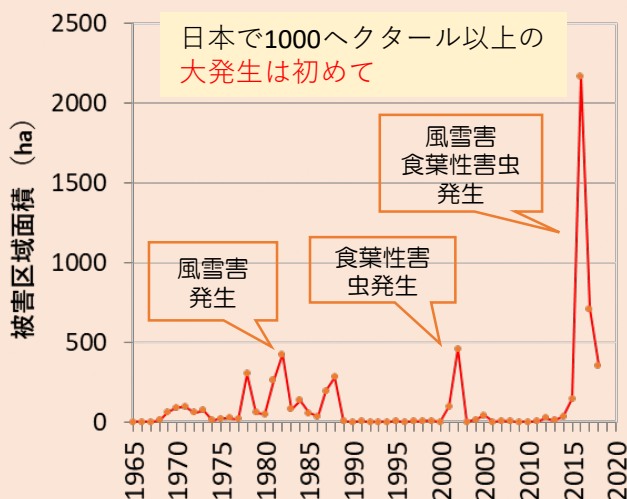
風害や雪害等で発生した被害木を林内に放置していると、クイムシが倒木等を餌にして、個体数を増加させます。そして、大量発生したクイムシが、春先の乾燥ストレスやカラマツハラアカハバチ（以下「ハバチ」）による食害等が続いて衰弱した周囲のカラマツの幹に多数侵入することで、カラマツを枯死させます。

近年、道東地方のカラマツ人工林で、クイムシ被害により、大規模な集団枯損が発生した例もあります。



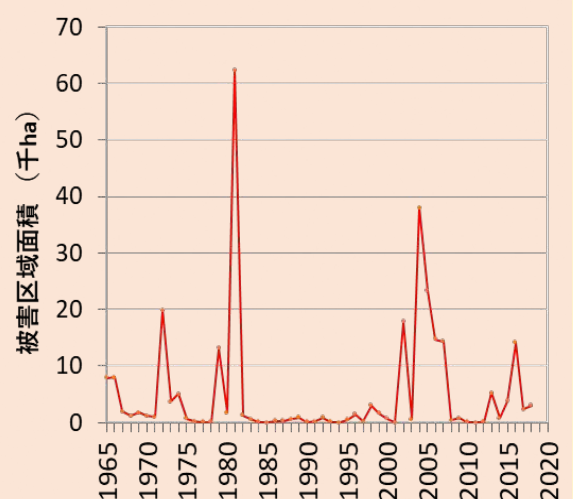
被害発生状況

道内のクイムシ被害面積の推移



平成28年(2016年)に過去にない大規模な被害が発生した。

道内の風水害及び雪害面積の推移



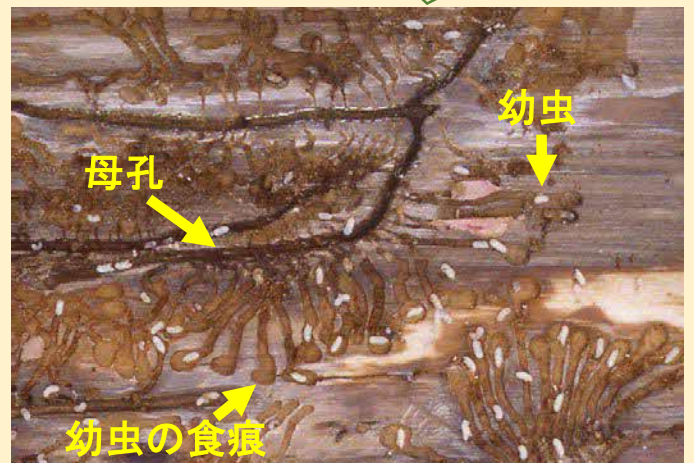
カラマツヤツバキクイムシ被害の見分け方

- ✓ 急にカラマツが赤く変色し枯れる
(6～8月頃。8月後半～9月はハバチ被害と判別が難しい)



- ✓ 幹に穿入孔があり、フラス（赤茶色の木くず）が出ている

- ✓ 樹皮を剥がすと食痕がある



カラマツハラアカハバチの被害



- ✓ 穿入孔やフラスはない
- ✓ 8月後半以降、顕著になる

- カラマツの葉を食害するが、枯死させることはほぼない
- 長期間被害が続いてカラマツが衰弱すると、キクイムシ被害が発生する可能性がある

◀ハバチ被害林分（食害で失葉したため茶色に見える）

◆被害が発生しやすい場所

- ✓ 被害木を整理していない風雪害跡地
- ✓ 材が長期間放置されたままの土場周辺
- ✓ 周りに枯損木が存在するところ

◆立木のほか、倒木や斜めになっている木でも、キクイムシが入っているかどうかを確認しましょう

被害発生を未然に防ぐために

- ✓風倒木等は早期に搬出しましょう
- ✓被害発生地域の周辺やハバチ発生中など、被害発生のおそれがある場所では、切り捨て間伐を控えて、伐採後は搬出しましょう
- ✓間伐遅れ林分は、間伐を行い健全に仕立てておきましょう

被害拡大を防ぐために

被害の**早期発見**が重要です！！

- ✓被害の把握漏れをなくしましょう
- ✓被害を発見したらすぐに、伐採・搬出の処理を行いましょ



①迅速な被害把握



②状況に応じた被害対応

詳しくは、（地独）北海道立総合研究機構林業試験場のホームページでパンフレットを参照してください。

カラマツを枯死させるキクイムシ ―カラマツヤツバキクイムシ被害の概要と対策―

URL : <http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pdf/kikuimushi.pdf>

なぜカラマツの大規模枯損が発生したのか？ ―被害拡大要因の解析―

URL : <http://www.hro.or.jp/list/forest/research/fri/kanko/fukyu/pdf/kkoson.pdf>

作成 北海道水産林務部林務局森林整備課

協力 （地独）北海道立総合研究機構森林研究本部林業試験場

〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目

北海道水産林務部林務局森林整備課保護種苗係

Tel 011-204-5507（直通）

令和3年3月 発行